

学年	高校 3	教科	公民	科目	政治・経済演習	単位数	3
教科書名		詳述政治・経済（実教出版）		副教材名	ズームアップ政治・経済資料 政治・経済用語集 20 日完成 スピードマスター政治・経済問題集		
コース・クラス		中高一貫 理系					

I. 目標

1. 3 年次の大学入学共通テスト 7 割突破を目指し、国公立大学合格に向けて入試問題に対応できる実力を養う。
2. 経済活動の仕組みを理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につけさせる。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究させる。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考えさせる。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
3. 進路目標に即した問題演習を行い、大学入試共通テストなど受験に対応できる学力を育む。

III. 授業の進め方

1. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
2. 図表などの資料を効果的に活用し、視覚から理解を深めさせる。主権者教育は AL 方式で行い、より実効性のあるものとする。
3. 小テストを実施し理解度を確認すると共に、単元ごとに大学入試共通テストレベル、私立大学入試レベルの問題を解かせる。
4. 適宜、授業内で時事問題を取扱い、世の中の動きをつかませる。

IV. 学習上の留意点

1. 日頃から政治経済に関連するニュースに目を通すことを意識し、積極的に授業に参加する姿勢を持つこと。
2. 用語の暗記のみではなく、現代社会における様々な事象と関連付けて理解する。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につける。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 経済分野（経済社会の変容、現代経済のしくみ）
- 1 学期 期末試験 : 経済分野（現代経済と福祉の向上）
- 2 学期 期末試験 : 国際経済・国際政治分野

VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第1部 第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容		・経済のしくみについて身近な例をもとに理解した上で、その歴史的変容を学び、それを支える経済的思想を理解する。
	5	第2章 現代経済のしくみ 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ	小テスト 中間試験	・経済活動の基本的な仕組みや概念（需要・供給、市場メカニズム、貨幣の役割など）を理解し、現代社会における経済問題や政策の影響について論理的に考察する。
	6	5. 財政のしくみ		・経済成長が環境へどのように影響したかを理解し、持続可能な社会を形成するための方策を考察する。
	7	第3章 現代経済と福祉の向上 1. 経済の停滞と再生 2. 日本の中小企業と農業 3. 国民の暮らし 4. 環境保全と公害防止 5. 労使関係と労働条件の改善 6. 社会保障の役割	課題提出 小テスト 期末試験	・経済成長と福祉の向上がどのように関連し合い、相互に影響を与えるかを理解する。 ・労使関係や社会保障制度を理解し、経済的な視点から福祉の充実を支える方策について考察する。
二学期	9	第2部 第1章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮		・国際連合の役割や活動を理解し、平和維持や人道支援、持続可能な開発などの国際協力の重要性を理解する。また、国際問題に対する多国間での協力の意義と、個人としての責任について考察する。
	10	5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本	小テスト	・核兵器の危険性やその使用がもたらす影響を理解し、軍縮の必要性和国際的取り組みについて考察する。
	11	第2章 現代の国際経済 1. 商品、資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と世界金融 4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 地球環境とエネルギー	課題提出 小テスト	・国際紛争の原因やその影響、難民問題の現状やその解決に向けた国際的な取り組みを理解し、問題解決にむけた日本の国際協力の在り方を考察する。
	12	6. 経済協力と人間開発の課題	期末試験	・国際貿易や国際金融の基本的な仕組み、各国間の経済的相互依存や競争の関係や地域統合の動きを理解する。
				・自由貿易、関税、為替などの経済的課題が現代社会に与える影響を考察し、グローバルな視点で経済問題を分析する力を身につける。

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。